

様式 1 : 筆頭発表者の COI 申告書

発表演題に関連して、開示すべき COI 関係にある企業等を項目ごとに記載する

(抄録登録時から遡って過去 1 年間以内の COI 状態を申告)

項目	該当の状況	有の場合、企業・団体名の記載
① 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職などの有無と報酬額 (1つの企業・団体から年間 100 万円以上のものを記載)	(本人) 有 ・ 無	
	(親族) 有 ・ 無	
② 株の保有と、その株式から得られる利益 (1つの企業の 1 年間の利益が 100 万円以上、あるいは当該株式の 5%以上保有のものを記載)	(本人) 有 ・ 無	
	(親族) 有 ・ 無	
③ 企業や営利を目的とした団体から特許使用料として支払われた報酬 (1つにつき年間 100 万円以上のものを記載)	(本人) 有 ・ 無	
	(親族) 有 ・ 無	
④ 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席（発表）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料など (1つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上のものを記載)	(本人) 有 ・ 無	
	(本人) 有 ・ 無	
⑤ 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料 (1つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上のものを記載)	(本人) 有 ・ 無	
	(本人) 有 ・ 無	

<p>⑥ 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費（治験、委託受託研究、共同研究）など <small>（1つの企業・団体から支払われた総額が年間200万円以上のものを記載）</small></p>	<p>(本人) 有 ・ 無</p>	
<p>⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学寄付金（奨励寄付金）などの有無 <small>（1つの企業・団体から支払われた総額が年間200万円以上のものを記載）</small></p>	<p>(本人) 有 ・ 無</p>	
<p>⑧ 企業や営利を目的とした団体が提供する寄附講座 <small>企業等からの寄附講座に所属している場合に記載</small></p>	<p>(本人) 有 ・ 無</p>	
<p>⑨ 研究、教育、診療とは無関係な旅行、贈答品など <small>1つの企業・団体から年間5万円以上のものを記載</small></p>	<p>(本人) 有 ・ 無</p>	

※(親族)・・・配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

(本 COI 申告書は抄録登録後 2 年間保管されます)

(申告日) 年 月 日

セッション名
または演題登録番号 _____

発表実績となる学会 _____

筆頭発表者 (所属) _____

(署名) _____ ㊟

様式 1-A 自己申告による COI 報告書 (スライド例示)

<p>一般社団法人日本顎顔面補綴学会</p> <p>COI 開示</p> <p>〇〇大学 〇〇太郎</p> <p>演題発表に関連し、開示すべき</p> <p>COI関係にある企業などはありません。</p>
--

様式 1-B 自己申告による COI 報告書 (スライド例示)

<p>一般社団法人日本顎顔面補綴学会</p> <p>COI 開示</p> <p>〇〇大学 〇〇太郎</p> <p>演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業などは下記の通りです。</p> <p>①顧問： ②株保有・利益： ③特許使用料： ④会議出席等日当・講演料： 例；〇〇万円（〇〇〇株式会社） ⑤原稿料： ⑥受託研究・共同研究費： ⑦奨学寄付金： ⑧寄付講座所属： ⑨贈答品などの報酬：</p>
